

平成19年度第3回磯子区地域福祉保健計画推進委員会議事録

開催日時	平成20年3月24日（月）午後6時30分から午後7時50分まで
開催場所	磯子区役所 701号会議室
出席者	委員：上杉委員・鈴木委員・三澤委員・水越委員・櫻井委員・関野委員・時任委員 矢野委員・大平委員・佐々委員・野田委員・平野委員・三浦委員・米尾委員 事務局：宇賀神センター長・高柳担当部長・林課長・原田係長・奥村係長・伊東職員・小林職員 近藤職員・山口職員・小先職員 （区社協）内藤事務局長・大久保職員 （ケアプラザ）向井所長（根岸）・水村職員（磯子）・岸本職員（新杉田） 大久職員・松田職員（洋光台）
欠席者	佐藤委員・外村委員・小島委員・福士委員・濱田委員・中里委員・石塚委員・岩瀬委員
議 事	センター長あいさつ 1 19年度の取り組み状況について （1）各地区の取り組み （2）あなたの提案実現事業 （3）しあわせバンク <意見等> ・ しあわせバンクについて、「地域で同じ人が何役も担っている」という状況にどう対応していくかが問題なのではないか。 ・ 洋光台地区ではひとり暮らし高齢者への訪問を断られてしまうケースが多く、数ヶ月に一度昼食会やお茶会などを実施している。このほか配食など似たようなサービスは多いが、窓口がたくさんあっても対象者はほぼ同じであるように感じている。3月16日にケアプラザで実施したおまつりでは子供から高齢者まで対象者を広げて開催し、多くの参加者があった。地区で福祉に関する取り組みを行っている団体は、地区社協、スイッチON磯子地区推進委員会、地域ケア連絡会などいくつもあり、連携して取り組んでいくのは大変なことである。この計画は5ヵ年計画とのことだが、それ以降も続いていくのか。 →おそらく次期計画をつくることになるかと考えているが、現在の計画を振り返り、工夫したり変えた方がよい点については改善してつくっていくことになるだろう。来年度以降は次期計画に向けての議論もしていきたい。 ・ 杉田地区で高齢者の健康づくりの活動をしているが、2月に実施した介護予防についての講演会は45名もの参加があり、高齢者の健康への関心の高さがうかがわれた。 （4）その他 ・ 2月24日に開催した「いそご福祉フェスタ」では、多くの参加者に「スイッチON磯子」の取り組みについてPRすることができた。来年度以降もこのような機会をつくっていきたいと考えている。 ・ 「まめ通信」は現在1500部弱を発行している。地域への情報発信のほか、行政内部の情報共有も進んできていると感じている。

2 20年度の進め方について

(1) 磯子区20年度予算案と執行体制について

(2) 豊かな地域社会に向けた活動支援事業

(3) 「区民のちから」 発揮・活用事業

(4) 地域福祉保健活動普及支援事業

<意見等>

- ・ 20年度は、スイッチONと支えあいの助成金の会計報告についても一本化するということか。
→その方向で進めている。
- ・ 団塊世代が多く退職するということだが、杉田地区の健康づくりのスタッフは5名しかいない。団塊世代でボランティア活動に参加したいという人がいたら、ぜひ連絡してほしい。
→団塊世代が退職後にすぐ地域に入るとは限らないが、近い将来に地域活動の担い手となることを期待している。「区民のちから」 発揮・活用事業では、団塊世代を始めとした人たちを対象として、担い手の育成支援をしていくことを考えている。
- ・ 町内会では限られた人たちがいくつもの役を担っており、新たな人材の発掘に悩んでいるところも多いと思う。情報交換することで人材発掘のヒントになるのでは。
- ・ 団塊世代を掘り起こしていくには地道な活動や情報発信が必要だと感じている。滝頭小学校の「おやじの会」がNPOの活動を手伝ってくれているが、コーディネイトが大変。働いている人は日中つかまらないので、会えなくても返事がなくてもメールを送り、10回に1回返事が来ればラッキーというように考えている。
- ・ 梅林小など他の小学校にも「おやじの会」があると聞いている。お父さんたちの活動が徐々に広がりつつあるのではないか。
- ・ 滝頭地区の取り組みの「対話集会」について詳しく知りたい。
- ・ 滝頭地区の5カ所で毎年実施しており、それぞれ20名前後参加している。ケアプラザを会場にして実施している「サロン滝さん」は100名以上が参加するかなり大規模な催しだが、対話集会はケアプラザまで来られない人たちを対象に少人数で行っており、参加者共通の話題も多く、お互い気軽におしゃべりしてアットホームな雰囲気である。長く続けている活動なので、開催を楽しみにしている人も多いようだ。ケアプラザの職員も参加して、介護予防についての啓発等を行っている。

3 20年度推進委員について

現在の委員の任期は20年3月末までであるが、今後の計画の推進に継続性を持たせていくため、事務局としては、公募委員も含めた現在の委員に20年度以降も引き続きお願いしたいと考えている。所属団体から推薦を受けている委員や本人の意向などそれぞれ事情が異なると思われるため、今後事務局から個別に依頼していくのでよろしくお願ひします。

担当部長あいさつ

資 料

1 会議資料